



上越市議会議員

宮崎朋子 議会通信

ミヤザキトモコ ギカイツウシン

◆9月定例会（議会）のポイント

～上越市令和元年度の決算、財政事情と新たな課題～

◆宮崎朋子、初めての一般質問に挑む！

◆議員活動奮闘記 ～おかげ様で、はや半年～

◆地元の情報

Vol,2

発行月 2020年10月

所属

- 会派 創風
- 農政建設常任委員会
- 広報広聴委員会
- 新型コロナウイルス調査対策特別委員会
- 県道新井柿崎線整備促進議員連盟
- 保倉川放水路整備促進議員連盟
- 日韓親善上越市議会議員連盟
- 三和区国県道整備促進期成同盟会
- 桑曽根川・錦川改修促進期成同盟会

地域の農業政策に積極的に取り組みます！

発行者/上越市議会議員 宮崎朋子

市民と市議会を結びます！

緊急対応と、丁寧に声を聞きます！

力を合わせて、解決へむけて頑張ります！

事務所

〒943-0231 新潟県上越市三和区鴨井471

携帯 090-3545-6087

✉ q8s-3n8h@joetsu.ne.jp

みなさまのご意見をお寄せください



FAX 025-333-0424

宮崎朋子 議員活動 奮闘記

～おかげ様で、はや半年～

みなさまにご支援いただき、クマの出没確認からコロナ対策まで奔走した半年間でした。その間、2度の臨時会と定例会（議会）を経験し、膨大な行政サービスを自身の頭で考え、審議する立場の有難さと責任を痛感する毎日でした。

特に9月議会では、所属する農政建設常任委員会審議と他の委員会傍聴で、上越市の今とこれからを理解できました。これは、選挙で私が訴えた、「世代ごとの課題解決」に大きく繋がると確信し、これからも努力してまいります。

活動記録（7/16～10/10）

- 委員会出席（農政建設常任委員会／コロナ対策特別委員会提言書2回／広報広聴委員会）
- 議員連盟活動（新井柿崎線／保倉川放水路）
- 調査研究（要望／市内の雇用状況／新卒採用状況／経済状況など）
- 議員懇談会（上越市教育委員会同和問題現地研修会／上越市社会福祉協議会など）
- 会派研修（IT活用／県立武道館／りとりらいふ／上越市ものづくり振興センターとの意見交換、市内工場視察）
- 会派勉強会（10回／佐渡汽船／GIGAスクール構想など）
- 農政建設委員会視察（名立区土砂災害現場／板倉区スマート農業実証事業／安塚区緊急簡易貯留施設整備・ため池維持修繕事業／雪中貯蔵施設建設事業）
- 議員勉強会（上越市における2025年問題）
- 新人議員有志勉強会（上越市の財政について）
- 地域協議会傍聴（三和区／高田地区）
- 市内団体活動参加（4団体）
- 市内経済団体参加（4団体）
- 市の事業体験（2事業）
- 宮崎朋子議会通信発行
- 議会報告会・意見交換会（広報広聴委員会）
- 臨時会（7月29日）
- 本会議（9月2日～28日／一般質問） など



工場見学



会派研修



●12月議会の予定

11月30日（月）～12月14日（月）

議会傍聴には是非お越しください！

地元の情報

～三和区関連～



日が短くなりました。車の運転には、くれぐれもお気をつけください。

①沿線議員連盟で、新井柿崎線の課題を要望！

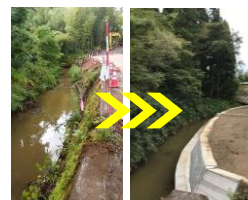
年間を通じて交通量の多いこの道の課題解決に向け、去る7月31日関係各所に対し地域のみなさまの要望をしっかりと伝えました。実現に向けて連携して取り組んでまいります。



県道新井柿崎線（三和区下中地内）

②河川修復工事、道路拡幅工事等の進捗

集中豪雨や台風などの自然災害から暮らしを守るため、そして通学や歩行の安全のための工事が随時進められています。



桑曽根川河川災害復旧工事



上越安塚柿崎線路肩拡幅工事



水かさが増す飯田川の様子（8月）



上越市議会 議会報告会・意見交換会を開催します！
11月11日（水）午後6時30分より
三和コミュニティプラザ



■ 7月臨時会と9月定例会（補正予算等）

市内二次交通事業者及び小・中学校への感染防止対策関連や上越産品に特化した、インターネットショッピングモールへの取組、感染防止啓発冊子等の作成などに充てられます。

■ 9月定例会（議会）では、令和元年度の事業及び決算を審議、決議いたしました。

議案38件/請願5件
計43件を審議

令和元年度決算 歳入→103,420,790,000円
歳出 → 99,014,740,000円

財政健全化4指標（財政が健全であるか否かの目安）において、上越市は警戒ラインには達しておらず、堅実な財政運営であると言えます。
しかしながら、新型コロナウイルスによる景気の悪化や当市の労働人口の減少など、越えなければならない壁も多く、決して楽観視はできない状況と考えます。

（詳しくは、広報上越10月号をご覧ください）



令和元年度の取組

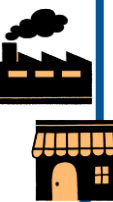
子育て/学び/若者応援

- ◆総合的な子育て支援
(上越市子ども・子育て支援総合計画)
- ◆妊産婦の経済的な負担の軽減
など



経済/産業/観光など

- ◆人手不足解消と次世代育成を強化
 - * U I J ターン事業
 - * 若者自立支援
 - * 次世代育成（農業・商工業など）
 - * 職場環境の向上
(ワークライフバランス) など



社会福祉/高齢者支援

- ◆公の施設の今後を検討
(再配置計画/立地適正化計画等)
- ◆市民の相談窓口の構築
(上越市版地域包括ケアシステム)
- ◆中山間地域の暮らしを支える取組
など



新たな課題

- ◆新たな学習環境への対応
(G I G A スクール構想)
- ◆若者が望むまちの実現！
(流出人口対策)

- ◆コロナ禍での救済・支援
(中小企業、小規模事業者等)
- ◆変わる観光意識
(上越市観光交流ビジョンで
市民総出のおもてなし)

- ◆公的施設の老朽化対策
(橋/道路/学校など)
- ◆災害対策と危機管理の強化
- ◆市民の健康維持を応援！
(生活習慣病予防/地域医療確保)
- ◆人ごとではない空き家問題

市民のみなさまに、特に関係する項目を独自に選んで記載しています。

詳しくは、上越市HPをどうぞ→

<https://www.city.joetsu.niigata.jp/>

当市は、コロナ禍でも慢性的な人手不足と、求人求職のミスマッチが続いています。私は、働く皆様が少しでも希望を持てるよう「雇用」をテーマに約1時間の質疑応答をいたしました。
傍聴にお越しいただいた皆様をはじめ、励ましのメール、お手紙に心より感謝申し上げます。



「コロナ禍でどうなる？」
「上越市の雇用」

初めての、一般質問に挑戦しました！

- 【雇用状況について】**
問 市内の求人倍率と経営者への雇用支援は？
答 戻りつつあるが、パートの求人減がみられる。鍵は製造業とみる。今後も、市民の雇用維持を図っていく。
- 【コロナ禍で事業の強化を】**
問 若い人達が、安心して生き生きと働ける社会の実現のため、①市内企業雇用促進事業②若手社員定着支援事業の今後は？
答 ①段階的な取組と、今後は進路指導担当者や保護者に市内企業のPRをしていく。②新入社員セミナー等、職場の定着に取り組む。
- 【重要なキャリア教育】**
問 この30年で、働き方や価値観は大きく変わった。子ども達には社会変化に臆することなく、たくましく生きていってほしい。

- 上越「ゆめ」チャレンジ事業に関して、保護者の勤労観醸成も必要では？
答 市内中学生、保護者、地域と共に考えていきたい。
- 【今こそ重要！この3点】**
問 テレワークは在宅勤務を、副業では特技などが活かせる、ワークシェアリング（仕事を分け合う）は、女性や高齢者雇用につながると考える。特に若手起業家が必要。今後は買い物難民など地域課題解決型ビジネスも必要では？
答 大事なこと。市としても模索していきたい。
問 U I J ターン事業は市民協力も必要では？
答 小さな成功例の積み重ねが重要。市も政策の総動員で取り組んでいく。
- 問 新しい働き方の企業支援は？
答 色んな策があるので、是非相談してほしい。

一部抜粋しています。議会の様子（本会議/委員会等）→ <http://gikai.joetsu.tv/>